

一般社団法人日本補体学会

第 54 回日本補体学会総会議事録

【議事内容】

(1) 第 54 回日本補体学会学術集会(2017)開催状況報告

集会長の関根英治氏より報告があった。

9月1日時点で一般参加者は学生含めて70名。企業10社以上の参加。

(2) 第 54 回学術集会優秀賞選考結果について

若宮会長より選考結果の発表がなされ

水野 智博氏 名城大学薬学部薬効解析学 助教

研究課題 「C5、C5a は細胞外ヒストンにより誘発された致死性血栓症を増悪する」が表彰された。

(3) 平成 28 年度事業報告

若宮会長より事業報告書を基に報告がなされた。

(4) 平成 28 年度会計報告

若宮会長より「平成 28 年度日本補体学会収支決算（事務局）」「平成 28 年度日本補体学会収支決算（受託業務）」「平成 28 年度国際補体学会収支決算」を基に報告がなされた。

事務局：収入 11,414,010 円、支出 2,199,147 円、繰越残高 9,214,863 円

受託業務：収入 130,097,067 円、支出 61,461,336 円、繰越残高 68,635,731 円

国際補体学会：収入 45,207,337 円、支出 45,207,337 円、繰越残高 0 円（理事会で報告済み。）

(5) 平成 28 年度会計監査報告

藤田禎三氏より監事として各資料を確認し、平成 28 年度の会計が適切に運営されたことを確認した書類の提示があった。ICW については山本先生により確認された。

(6) 平成 28 年度の運営一般状況について

若宮会長より「日本補体学会運営状況の推移」の資料を基に報告がなされた。

現在会員数は 170 名台となっていることを報告。

(7) 平成 29 年度事業計画について

若宮会長より事業計画書を基に報告がなされ、承認された。

(8) 平成 29 年度の予算案について

若宮会長より平成 29 年度予算案を基に報告がなされ、承認された。

1) 「平成 29 年度日本補体学会予算（事務局）」について

予算収入案：11,228,863 円

支出案：2,580,000 円

繰越残高：8,648,863 円

2) 「平成 29 年度日本補体学会予算（受託業務）」について

収入：68,635,731 円

支出：86,800,000 円

繰越残高：△18,164,269 円

※繰越がマイナス計上になっている。（年度切り替えが異なるため）

3) 「平成 29 年度日本補体学会予算（第 54 回日本補体学会学術集会）」について

収入：3,540,000 円

支出：3,540,000 円

繰越残高：0 円

(9) 名誉会員承認について

若宮会長より野中勝氏、松尾清一氏の 2 名を平成 29 年度より名誉会員として承認することを理事会で決定されたことを報告。総会で承認された。

(10) 第 55 回日本補体学会学術集会（2018）について

集会長：新小倉病院診療部長 塚本 浩氏

日時：2018 年 8 月 31 日（金）・9 月 1 日（土）

場所：北九州国際会議場（北九州市小倉北区）

(11) 第 56 回日本補体学会学術集会（2019）について

集会長は埼友会埼友草加病院院長 大澤 眞氏とする。

(12) 補体検査プロジェクトについて

研究代表者／大阪市立大学医学部血液腫瘍制御学 中前博久氏

プロジェクト課題／「同種造血幹細胞移植後血栓性微小血管症（TA-TMA）における補体介在性機序の探索」

上記プロジェクトに関し、日本補体学会の受託研究として採用することが承認された。

(13) 平成 29 年度委託研究助成について

若宮会長より審査結果の発表がなされ、平成 29 年度は以下の 3 名が選ばれた。

○秦 浩一郎氏 京都大学大学院

「補体制御による劇症肝炎/急性肝不全における病態解明と新規治療法の開発」

○山中和明氏 兵庫県立西宮病院

「腎移植後抗体関連型拒絶反応の診断における補体因子 C1q・C3d の有効性の検討」

○伊藤章吾氏 慶應義塾大学

「右室流出路心外膜に内在する補体 D 因子の心疾患への関与における分子生物学的検討とそれに基づいた新しい治療法の開発」

(14) 厚生労働省への要望書について

イカチバントの在宅医療における自己注射保険適用に関する要望書を日本皮膚科学会、日本アレルギー学会と共同で、厚生労働省に提出することが理事会で承認されたことを報告された。

(15) その他

16th EMCHD, ICW への学生参加者補助について

本年 9 月 8 日～12 日にコペンハーゲンで開催される 16th European Meeting on Complement in Human Disease (EMCHD)、来年の ICW2018 で、演者としてポスターまたは口演発表される学生会員（年会費完納済み）の皆様に、16th EMCHD、ICW2018 による Award 等とは別に、日本補体学会より参加費および交通費の一部を補助することが承認された。